
ソードアート・オンライン-異端の槍使い-

神呪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ソードアート・オンライン - 異端の槍使い -

【Nコード】

N9879Y

【作者名】

神咒

【あらすじ】

「これは、ゲームであつても遊びではない」 - 茅場晶彦 -

《ソードアート・オンライン》アニメ化ということで、あまりの嬉しさで衝動的に書いてしまったオリ主ものです。

文章力はありません。

prologue (前書き)

ヒロインをアスナにしようかなとかちよつと暴走する可能性あり
です・・・

prologue

- - - パアアアン! - - -

破裂音が森に響き渡り、その音を発生させた張本人に叫ぶ。

「何をしてるんだよコペル!!」

キリトも同じことを考えているのか、信じられないような目をしてしながらコペルを見つめる。

この音を聞くのは二回目で、一回目は テストの時。

その時はこの破裂音と共に放たれた匂いに引き寄せられた《リトルペネント》の大群に襲われ、レベル2と3の四人が離脱した。

そしてこうなることを知っていたはずのコペルは「ごめん」と呟いてから、^{ハイディング}隠蔽スキルを使い俺たちの前から姿を消す。

おそらくコペルは隠蔽スキルを使いこの状況をやり過ごし、俺たちを見殺しにして、このクエストのキーアイテムである《リトルペネントの胚珠》を奪い取るつもりなのだろう。

だけどそれは・・・

「無駄だよ・・・」

キリトも同じ考えに至ったんだろう。

「隠蔽スキルは便利なスキルだけど、でも万能じゃない」

匂いに引き寄せられ現れたリトルペネントの大群は誰の姿も見えない茂みを目指す。

俺はそれを見ながら自分の武器である槍を構えなおして、キリトの言葉の後を引き継いだ。

「リトルペネントみたいに視覚以外の感覚を持つてるモンスターには効果が薄いんだ・・・」

そして俺とキリトはコペルの方へと向かったリトルペネントを無視して、周囲に群がるリトルペネントにそれぞれの武器を向け、駆け出した。

俺は石突きを使つて棒高跳びの様に飛び、リトルペネントの背後へと回り込んでから、弱点へと突きを連続で繰り出す。すると突きを喰らった数体はガラス塊を割り砕くような音を立てながら、微細のポリゴンの欠片になって爆散する。

それを脇目に確認しながら技を放つために構え、リトルペネントの触手のような鳶が迫ってきた瞬間に放った。

「姫守流槍術 袂^{はらえ}っ！」

俺の家は昔からの武術を伝えている家で、長男である俺は物心ついた頃から武術をやらされた。

結果俺は、システムに沿って動くソードスキルが苦手で、我が家の技を多用するようになった。

今回使ったのは足払いの様に槍を薙ぐように振り回して広範囲に攻撃する多数向けの技。

その技を繰り返し邪魔な鳶を切り落としながら、一体、一体と確実につぶしていった。

s i d e o u t

s i d e o t h e r

リトルペネントの大群に囲まれてから十数分後、その場には槍と剣を持った二人の男性・・・リンとキリトが立っていた。

キリトはコペルが最後に戦っていたであろう場所を見ながら

「・・・お疲れ」

ネットゲームを《ログアウト》していった者へ対する定番の挨拶をする。

それを見ながらリンはキリトらしいと思いながら見つめる。

数分後キリトが口を開く。

「リンはこえが本当のデスゲームだって信じられるか？」

「信じられないさ・・・ただこれだけは決めた」

リンの口調が強くなったためか、キリトが振り返る。

「俺は強くなる・・・もちろん生きて帰りたいってのもあるけど、俺は武芸者だ。こつちの世界でなら俺はまだまだ強くなれる気がするから」

それは武芸者ではないキリトも思ったこと。

ただ、リンは己の技を、キリトはこのゲームの剣技を、という方向が違うだけ。

こうして二人の始まりの日は終わりを迎えた。

prologue (後書き)

オリキャラを出そうと思っているので募集したいと思います。
よろしく願います。

オリ主紹介（前書き）

オリ主の紹介です。

オリ主紹介

リアルネーム：姫守 ヒメカミ リンドウ 竜胆

キャラクターネーム：リン

性別：

誕生日：11月12日

血液型：AB型

身長172.4cm

体重65.2kg

容姿：黒目黒髪。中性的な容姿で髪を伸ばして後ろの方で結っている為かよく女性と間違われる。

相当古くから続く姫守家の跡取りで、《ソードアート・オンライン》の「自らの体を動かして戦う」ところに興味を惹かれたのと、親戚であるキリトこと桐ヶ谷 和人に誘われたのをきっかけにゲームを買う。

姫守流槍術の使い手で、才能も相まって姫守家の中で槍で彼に敵うものは少ない。

戦闘ではソードスキルを使えないこともないが、主に姫守流槍術を用いて戦う。

ソロプレイヤー。

オリ主紹介（後書き）

話に合わせて紹介を追加していきたいと思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9879y/>

ソードアート・オンライン-異端の槍使い-

2011年11月29日21時46分発行